

慈生会の理念

慈しみの心と、
真心の医療。

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも患った人々に笑顔と優しい言葉で接します。
- 一、私達は健康に良い美しい環境造りに努めます。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、新しい医療・介護の知識・技術の習得に努め、日常の業務に反映します。
- 一、笑顔で働きがいのある職場作りに努めます。

夏の冷房病対策

○冷房病（クーラー病）とは

人が急激な温度変化に対応できるのは、5℃以内だといわれています。猛暑の中冷房の効いた室内と外を頻繁に出入りしたり、冷房の風を長時間体に当てていたりすると、体が温度変化に対応できず、毛細血管の収縮で、全身に血行不良が起こります。これが体温調整に乱れを生じさせ、様々な症状を引き起こすのです。



○冷房病の症状は

体の倦怠感やむくみ、頭痛、肩こり、神経痛、下痢、便秘、腹痛、食欲不振、不眠、免疫力の低下などです。このような症状が4～5日続くようなら、我慢せず内科の医師に相談します。

○冷房病の予防策とは

- ・外気との差を5℃以内にする
室温は、27～28℃が理想です。
- ・冷気を直接肌に当てない
冷房の効いた場所では、上着やひざ掛けなどを用意します。
- ・毎日40℃以下の温めのお湯で入浴する
お湯につかることで、体が温まり、冷えて滞った血行の回復に繋がります。半身浴や足湯も同じような効果があります。
- ・暑い時こそ温かい食事を摂る
体を内側から温める「温性食物」の代表である生姜、ネギ、ニンニク、タマネギ、カボチャ、鶏肉、アジ、さば、チーズなどで料理を作ります。唐辛子やコショウなどの香辛料にも、同じ効果があります。
- ・質の良い睡眠を摂り、寝不足を避ける



★6月24日月曜日、3階多目的室で、フラダンスグループ「ハーラウ フラ オ カレオ マルヒア」様が一足早い夏を感じるフラを披露して下さいました。フラの名曲「ポリナヘ」「ワイピオ パエアエア」「クウプアマエオレ」「ク アロハ」などや「瀬戸の花嫁」「バラが咲いた」などのポピュラーソングを踊って頂きました。



「バラが咲いた」は振り付けを患者様と一緒に踊れるように工夫されていました。患者様も教えていただきながら、笑顔でフラを楽しんでいらっしゃいました。



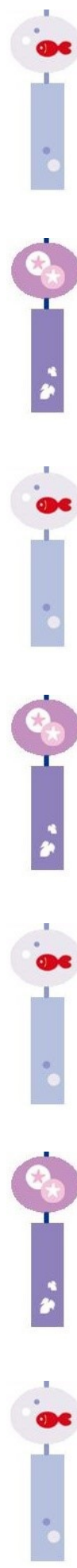
最後の曲「フラガール～虹を」は患者様方の中に入って踊られました。



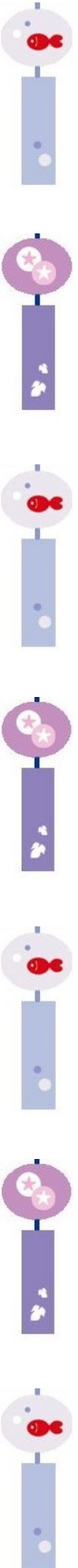
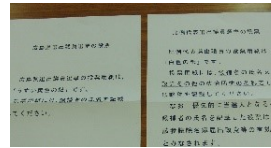
★7月24日水曜日「みなとまちこども園」パンダ組の園児たちが来院、歌とダンスで「パプリカ(米津玄師)」と「サマーキーン(平井大)」を披露して下さいました。お行儀の良さや可愛さに、患者様・ご家族・スタッフ全員の笑みがこぼれ、園児たちにパワーをもらえた、明るく楽しい雰囲気にも包まれた一日でした。



最後に患者様方から園児たちひとりひとりにプレゼントを渡していただき、園児たちも笑顔で帰られました。



7月17日水曜日に、第25回参議院議員通常選挙の不在者投票を、実施しました。歩行可能な方は、2階会議室で、歩行困難な方は病室で行いました。入院されていても選挙権は、大切な権利です、10数名の患者様達は、国の未来を決める一票に託し、投票されました。当院は今後も公正な選挙事務を行って参ります。



～お知らせ～

※毎週月曜日10時から(祝祭日は除く)無料のリハビリ教室を行います。

☆予防接種は、予約制となっております。

☆健康診断は随時。

☆前原病院人間ドックは、ご希望に合わせてメニューを組み合わせることができますので、ご相談下さい。

☆特定健康診査、乳癌検診、福山市がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

前原病院
の概要

1日平均外来患者数：42人

1日平均入院患者数：療養病床40人、緩和ケア病床9人

平均入院日数：療養病棟65日、緩和ケア病棟22日

令和1年
5月現在

内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科
慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目3-41 TEL(084) 925-1086 FAX(084) 923-4504

診療受付時間

午前8:30～12:30 / 午後15:00～17:30
※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



<バスでお越しの方>

中国バス：鋼管方面行き

バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

<車でお越しの方>

国道2号線を岡山方面へ進み、

「千間土手西」交差点を右折

☆多編集後記☆

発達した積乱雲の、雲の先が坊主頭に見えるので「入道雲」と名付けられました。また、雷を鳴らし、恵みの雨を降らせる、やんちゃな坊主頭の子供のようにも感じられて親しみを込めてこう呼びます。 広報誌編集部一同

